

|                  |   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------|---|------------------------------|----------------------|--------|----|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目名<br>Subject   | ネイルアート研究<br>Nail Art Studies  |                              | 教員名                  | ネイルチーム |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 開講年次             | 1   | 開講時期                         | 後期                   | 単位     | 4  |  |  |  |  |  |  |  |
| 必修／選択            | 選択  | 授業形態                         | 演習                   | 時間     | 60 |  |  |  |  |  |  |  |
| 実践的教育            | ○   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 主な学習効果           | 1) 美容技術とデザイン力、すなわち<br>美容における実践力   |                              | 2) 表現力、すなわち芸術における実践力 |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|                  | ○   |                              | ○                    |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 科目の概要            | ネイルアーティストとしての心構えから爪に関する基本的な知識を伝授し、爪の健康を考えたケア方法やカラーリング、各種つけ爪や流行のジェルネイルの知識と装着法を習得する。更に、ポリッシュデザインからエンボス、ジェルアートまで、色彩学を含めた理論と実習授業を行なう。   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 授業の目標            | 本科目を履修することにより、全身美容の一つとしてネイル技術は欠かすことの出来ない技術であるということを理解する。年齢を問わず指先の健康を守るという基本概念をしっかりと理解し、ネイルの基礎知識や材料学、話題の最新ネイル技術までをバランス良く習得する。また、ネイルアートの構図や美的効果など実体験を通じて、お客様に合わせたデザインを考えることが出来るようになる。 |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間外学習<br>(予習・復習) | 授業で習ったことを復習し、頭と身体の両方で覚えていくようにする。また、授業後はノートを整理するよう心掛けてもらう。授業以外においても各自で反復練習を行うこと。ネイル実技においては1回につき60分～90分程度の復習を行なうことが望ましい。  |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 教科書・教材           | 教科書   | ネイルプロフェッショナル 改訂3版 I-NAIL-A編著 |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|                  | 教材  | 個人配布教材と共同教材を使用する             |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|                  | 使用設備・備品   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|                  | 参考文献  |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 評価方法             | 次の3点を総合的に評価します。授業に参加をしないと知識や技術が得られないで、まずは授業参加態度を評価します(40%)。また、毎回作成するネイル技術の仕上がりや作品を評価します(20%)。筆記と実技のテストを評価します(40%)。  |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
|                  | <b>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</b>   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 学生へのフィードバックの方法   | 個別に実地指導を行います。   |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 履修上の注意           | 授業には爪に何も施していない状態で参加してください。  |                              |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 本科目履修と<br>関連する資格 | 資格名   | なし                           |                      |        |    |  |  |  |  |  |  |  |

| 授業計画 |                                       |                               |                   |
|------|---------------------------------------|-------------------------------|-------------------|
|      | 授業内容                                  | 到達目標                          | 予習・復習・備考          |
| 第1回  | ネイルの基礎知識<br>ネイルケアの概念と方法<br>衛生管理の知識と方法 | ネイルの正しい知識と衛生管理を理解する。          | ネイルの基本材料があれば持参する。 |
| 第2回  | ネイルの基礎知識<br>ネイルケアの概念と方法<br>衛生管理の知識と方法 | 技術においてはネイルケア方法を理解することができる。    |                   |
| 第3回  | ネイルケアとカラーリングの実習                       | ファイリング、ニッパーの扱いがスムーズにできる。      |                   |
| 第4回  | ネイルケアとカラーリングの実習                       | カラーリングが短時間でムラなく塗れるようになる。      |                   |
| 第5回  | スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。    | つけ爪とは何かを説明できる                 | マスク、ペーパータオルを持参。   |
| 第6回  | スカルプチュアネイル（つけ爪）の種類と材料学、概念と装着方法を学ぶ。    | スカルプチュアの正しい装着方法を身につける。        |                   |
| 第7回  | モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。             | 自然な形のスカルプチュアを作れるようになる。        |                   |
| 第8回  | モデルハンドにスカルプチュアネイルの実習を行なう。             | 自然な形のスカルプチュアを作れるようになる。        |                   |
| 第9回  | フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ             | フレンチのスマイルラインが作れるようになる。        |                   |
| 第10回 | フレンチスカルプチュアネイルの知識と装着方法を学ぶ             | フレンチのスマイルラインが作れるようになる。        |                   |
| 第11回 | 生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。               | 集中力と統一力を身に付ける。                |                   |
| 第12回 | 生徒同士でフレンチスカルプチュアの実習をする。               | 集中力と統一力を身に付ける。                |                   |
| 第13回 | ソフトジェルの概念、材料学と装着方法を学ぶ。                | ソフトジェルの特性を理解することができる          | 楊枝、フォイルを持参。       |
| 第14回 | ソフトジェルの概念、材料学と装着方法を学ぶ。                | ジェルをムラなく塗布出来ようになる。            | 楊枝、フォイルを持参。       |
| 第15回 | ソフトジェルの実習。                            | ジェルの特性を理解し、長さ出し<br>が出来るようになる。 |                   |

| 授業計画 |                      |                                     |          |
|------|----------------------|-------------------------------------|----------|
|      | 授業内容                 | 到達目標                                | 予習・復習・備考 |
| 第16回 | ソフトジェルの実習            | ジェルの特性を理解し、長さ出しが出来るようになる            |          |
| 第17回 | ソフトジェルのフレンチデザインの実習   | フレンチスタイルのデザインを理解することができる            |          |
| 第18回 | ソフトジェルのフレンチデザインの実習   | フレンチスタイルのデザインを理解することができる            |          |
| 第19回 | マーブルなどデザインの実習        | ジェルのデザイン技術を習得することができる               |          |
| 第20回 | マーブルなどデザインの実習        | ジェルのデザイン技術を習得することができる               |          |
| 第21回 | エンボスと3Dの基本概念と実習。     | サロン用とコンペティション用の両方のアートを作ることができる      |          |
| 第22回 | エンボスと3Dの基本概念と実習。     | サロン用とコンペティション用の両方のアートを作ることができる      |          |
| 第23回 | ネイルペイントティングの基本概念と実習。 | モチーフのバランスと配色を考え効果的に絵を描けるようになる。      |          |
| 第24回 | ネイルペイントティングの基本概念と実習。 | モチーフのバランスと配色を考え効果的に絵を描けるようになる。      |          |
| 第25回 | ポリッシュデザインの基本概念と実習。   | ポリッシュのフレンチスタイルを理解することができる           |          |
| 第26回 | ポリッシュデザインの基本概念と実習。   | 適正な色の選択、組み合わせが出来るようになる。             |          |
| 第27回 | 総括実技                 | 技術の確認を行い、自分に不足している部分を確認し、今後の課題を知る。  |          |
| 第28回 | 総括実技                 | 技術の確認を行い、自分に不足している部分を確認し、今後の課題を知る。  |          |
| 第29回 | 総括実技確認及び理論確認         | 爪の基礎知識、材料学、技術などを確認し、今後補うべき技術、知識を知る。 |          |
| 第30回 | 総括実技確認及び理論確認         | 爪の基礎知識、材料学、技術などを確認し、今後補うべき技術、知識を知る。 |          |